

米海兵隊500人、車両100台(りゅう弾砲10、ハイマース2含む)矢臼別入り

17日先発隊(人数不明)、18日本隊①250名、19日本隊②200名、21日～22日に装備品・車両100台が矢臼別演習場入りしました。

今回の特徴は、装備品・車両が2日に渡って搬入されたということです。これまでは1日で済んでいたところが2日かかったのはなぜか。疑問が残る所です。

釧路港での監視隊からは「港に並んだ車両は130台」という報告が来ていますから、もしかしたら、車両数は100を超えているのかもしれませんが。130台だとしても、これまでの例で言うと、防衛局は「約100台」と強弁するでしょうが・・・

米海兵隊移転反対道東集会(釧路市)、130人で成功

22日、釧路市民文化会館小ホールで「米海兵隊移転訓練反対道東集会」が開かれ、130人の参加で成功しました。

メインは、布施祐仁さん(フリージャーナリスト・元平和新聞編集長)の『安保3文書』で進む日米軍事一体化と日米共同訓練」と題した講演。

布施さんは、昨年末の「安保3文書」改定の閣議決定、それに次ぐ年頭の日米安保協議委員会(2+2)、日米首脳会談は、米国との「完全一体化宣言」にほかならないとし、これに先立って行われたレゾリュート・ドラゴン22などは、この路線に沿って展開された共同演習だったと、日米共同訓練の本質について述べました。

きめ細かい取材に基づいた布施さんの講演は、核心をついたわかりやすい話で、1時間15分があつという間に過ぎました。時間の関係で質疑応答ができなかったのが残念です。

講演の前、平和運動フォーラム釧路地区協議会の中村徳永議長、米軍来るな！釧路連絡会の古川晃男代表が主催者を代表してあいさつ。矢臼別平和委員会・寺川真幸理事が演習場の現地報告を行いました。

24日、防衛局に対し移転訓練に関する要請を行います

移転訓練中止を含めた「要請書」を防衛局に手渡します。

24日(火) 13:30～ 演習場中西別ゲート前

要請書を読み上げ、防衛局現地対策本部に手渡します。20分程度で終わります。抗議の意思を示すためにも多数ご参加ください。

※23日、海兵隊と防衛局による「事前説明会」が行われました。次号で。